

総合評価

自己評価チェック内容		よく出 来ている	ほぼ出 来ている	努力が 必要
1. 総則・子どもの発達				
1	「保育所保育指針」に基づく援助・支援を適切に行っていますか。	2	10	
2	保育園は、入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解していますか。	8	4	
3	子どもの個人情報適切に扱うとともに園内で知り得た事柄に対して守秘義務を遵守していますか	10	2	
4	子ども一人ひとりの人格を尊重した保育をおこなうとともに保育士自らの人間性や専門性の向上に努め、豊かな感性と愛情をもって保育をしていますか。	8	4	
5	保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。	7	5	
6	室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	9	3	
7	あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができますか。	6	6	
		50	34	

2. 保育の内容（保育計画・指導計画）

8	保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という、あらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。	9	3	
9	子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、個人目標・月案等を作成していますか。	7	5	
10	素材・用具を適切に活用しているか。	7	4	1
		23	12	1

3. 養護に関わるねらい・内容（生命の保持及び情緒の安定）

11	朝の健康観察を丁寧におこなったり一人一人の平常の健康状態や発育及び、発達状態を的確に把握していますか。	7	5	
12	子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境を心掛けていますか。	10	2	
13	子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	10	2	
		27	9	

4. 教育に関するねらいと内容		よく出 来てい る	ほぼ出 来てい る	努力が 必要
14	散歩や公園・園庭遊びなど戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	11	1	
15	食事の前や排泄後の手洗いの励行など、清潔の習慣が身に着くように援助していますか。	12		
16	子どもが見通しをもって、意欲的に行動できるようにすると共に快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	8	3	1
17	危険に気付いて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃から話していますか。	7	5	
18	順番や約束を守るなど、決まりを守ることの大切さを、園生活や遊びの中で、月齢に応じたわかりやすい言葉や態度で丁寧に知らせていますか。	7	4	1
19	子ども同士が自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付けるように援助や助言を行っていますか。	9	3	
20	あいさつや、返事、「ごめんなさい」「ありがとう」などの生活に必要な言葉を自然に使えるような保育をしていますか。	10	2	
21	大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができていますか。	6	6	
22	「できない、やって!」と言ってくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	5	7	
23	あなたは子どもの「これなに?」、「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度応えようとしていますか。	4	8	
24	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	7	5	
25	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気です食事ができることを第一に考えていますか。	8	4	
26	子どもがおもちゃの取り合いやトラブルが起こった時、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることが出来ますか。	9	3	
27	散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心を持つことを大切にしていますか。	11	1	
28	子どもと会話をするとき、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。	9	3	
29	自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間を取り、ゆったりと待つことが出来ますか。	4	8	
30	散歩などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	11	1	
		138	64	2

		よく出 来てい る	ほぼ出 来てい る	努力が 必要
5. 健康及び安全				
31	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか。	9	3	
32	子どもが活動しやすいようにその都度、保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	9	3	
33	子どもが危険な場所や遊びがわかり安全に遊ぶように指導していますか。	10	2	
34	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。	3	8	1
35	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか。	8	4	
		39	20	1

6. 保育士としての資質向上

36	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。	4	8	
37	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。	8	4	
		12	12	

38	この1年、保育をするにあたって心掛けていたことは何ですか？
----	-------------------------------

- ・毎日楽しく園に通い安心して過ごせるような環境づくり。保育者も共に楽しむ姿勢を大切にした。
- ・子どもたちが思いやりの気持ちを持つことができるように、勇気をもって表現できるように。
- ・子どもの気持ちを理解するように心掛けた。
- ・体を動かしていろいろなことにチャレンジした。
- ・保育園での生活に期待を持って笑顔で登園できるようにすること。
- ・少しでも出来た事を認め、褒め、次につなげるようにする。
- ・表情をよく見て声掛けを大切にした。
- ・待つことができる自分であること。

39	この1年、保育をしていて反省点・改善したい点がありますか？
----	-------------------------------

- ・配慮が必要な子に関しては細かい支援ができていたが、他児の関わりが細かくできなかった。
- ・保育者が忙しい時に十分に受け止めきれないことがあった。
- ・自己主張する子が多く全てをうけとめれないことがあった。
- ・体調の変化に気付くのが遅れてしまったこと。
- ・今できていることにもっと目を向け、認め、更に次につなげられるような声掛けをしていきたい。
- ・時間的余裕が持てない時に、子どもたちが満足するまで待ってあげられなかった。

7. 保護者支援		よく出 来てい る	ほぼ出 来てい る	努力が 必要
40	園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことができますか。	8	4	
41	今後、園職員全体でどのような保護者支援をしたら良いかと思いませんか。			

- ・食事（栄養面）に関して学ぶ機会を設けたい。
- ・保育園の準備物を少なくしていきたい。

【反省・今後の課題】

*評価の結果として「よくできている」が多かったが、正職員・非常勤職員の違いにより評価が異なる。子どもに向き合い、受けとめることに関しては、自己主張が強い子・支援が必要な子・自立している子がいる中でそれぞれの主張にすべて対応することの難しさを感じる。この点について改善の余地があると判断できる。保育者の時間と気持ちに余裕を持たせることの大変さを感じ、保育士としての専門性の向上に努めたい。保育者の言動は子どもたちにも影響を及ぼすことを常に意識した行動・言動を心がける。今回の評価内容全般については、全職員間での共有課題としてとらえ、今後さらに、日々の保育に生かせるように努力する。